

2023年度

ファナック保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月16日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「四季折々の自然体験を通し、感性を磨き学ぶ好奇心を育みます。」の保育理念に則り、外遊びを通して みたり聞いたりして発見する楽しさを味わう。保育士も共感し一緒に発見を楽しんだ。
子どもの発達援助	年齢ごとに保育室が分かれていたため、活動がしやすかった。 年間通して関わられたので、成長が見られ次への課題も明確になった。 異年齢での活動する機会もあったのでコミュニケーションが取れた。
保護者に対する支援	数年ぶりに保護者参加の行事が行えたため、保育士が保護者同士のコミュニケーションの橋渡しができた。
保育を支える組織的基盤	研修などを通して、今後も自己研鑽をしていく。園内の保育士同士の関わりや、他の園の保育士との関わりの場を設け、情報共有出来たらもっと視野が広がると思った。

総評
今年度は0歳児・1歳児・2歳児とお部屋を分けて保育することができた。分散できることで落ち着いて手厚い保育ができたと思う。活動は異年齢での関わりも持て子どもたちの成長にもつながった。 給食試食会や保育参加なども数年ぶりに行うことができ、保護者にも園の様子や園でのお子様の様子を見ていただくことができた。 園庭遊びでは、季節の変わっていく様子を実感でき、発見や会話にもつながったと思う。 保育士配置が正常に行われたおかげで、充実した保育が提供できたと思われる。